

令和7年度 事業計画(緑化フェア)(案)について



COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



川崎市市制100周年記念事業・
全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
(建設緑政局緑化フェア推進室)

令和7年度事業計画（緑化フェア）（案）

●会議の開催

- ・実行委員会総会を開催する。
- ・緑化フェア幹事会を適宜開催する。

●各事業計画の実施・調整等に関すること

(1)協働推進

- ・学校で育てた花苗をコア会場や地域の公園などに届けて市域全域で飾る「協働の花づくり・花かざり」を実施する。花づくりをとおして、子どもたちが地域と関わる取組の継続に向けて教育委員会等との調整を実施する。
- ・フェアボランティアが植物育成・管理、会場サービス等の運営に参加することにより、フェアを盛り上げる。またボランティア参加者が市内のみどりやまちづくりの活動を知り、様々な活動へ参画するきっかけにつなげる。
- ・みどりの力を活かし、市民、企業、大学、行政等の多様な主体との共創により、『みどりでつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち』の実現を目指す取組を引き続き進める。

(2)観客誘致・広報宣伝

- ・ターゲット層に応じて、SNSやホームページ等のWEBメディアやテレビ・ラジオ・新聞等のマスメディア、屋外広告物、パブリシティなど、メディアミックスで全世代に情報が届くように戦略的な広報を実施する。
- ・フェアの広報集中期間（令和7年2～4月）において、多くの人が利用する駅及び駅周辺を中心に効果的な広報宣伝を行う。
- ・公式記録を作成する。
- ・かわさきフェアを活用した川崎市のPRを実施する。

(3)会場

- ・コア会場については、それぞれの地域特性を踏まえ設定したコンセプトに基づき、各会場の取組を展開することで、川崎らしいみどりの価値を発信する。
- ・エリア（コア会場周辺）については、多様な主体と連携し、オープンスペースや地域資源を活かし、安全かつ歩いて楽しめる空間づくりを展開する。
- ・まちなかみどりスポットについては、市内の様々なみどりとオープンスペースを活用し、日常の活動や取組をフェアを通じて発信、市内全域でフェアを盛り上げる。
- ・かわさきフェアを契機として、公共空間の活用など、市民のまちづくりへの参加意欲の機運醸成を図る。

●各事業計画の実施・調整等に関すること(続き)

(4) 出展展示

- ・「川崎のみどり」の歴史とこれからのみどりを考えるきっかけとなる展示や、壁面緑化等の新しい技術を発信する。
- ・全国の関係機関・団体との連携による花壇や作品等を展示する。
- ・市民が花やみどりに関わるきっかけづくりを推進する。

(5) 植物調達・管理

- ・市内産など地域で育てられた植物のほか、市民生活に取り入れやすいもの等を活用する。
- ・小中学校やボランティアなど、多様な主体との協働による花苗育成や植物の管理を実施する。

(6) 行催事

- ・より多くの人々がみどりに触れ、楽しめる機会となるよう、各種イベント(イベント、ワークショップ、企画展示、講習会)などを実施する。
- ・閉会式において、市民総参加でつくりあげ、盛り上げたフェアを振り返り、市民、団体、企業等とともにフィナーレを飾るとともに、次期開催地への引継ぎを行う。
- ・フェア後のまちづくりを見据え、様々な主体との連携によるイベント等を実施する。

(7) 飲食・物販

- ・地域の農産物や特産品等を使用した川崎ならではの魅力ある飲食・物販サービスを提供する。

(8) 会場運営・管理

- ・多様な主体と連携・協働した会場運営により、誰もが快適に参加できるとともに、環境先進都市にふさわしい環境負荷低減を意識した会場運営・管理を行う。

(9) 交通輸送

- ・公共交通機関の利用を推進し、みどりを感じながら歩いて楽しめる、おすすめルートを案内する。